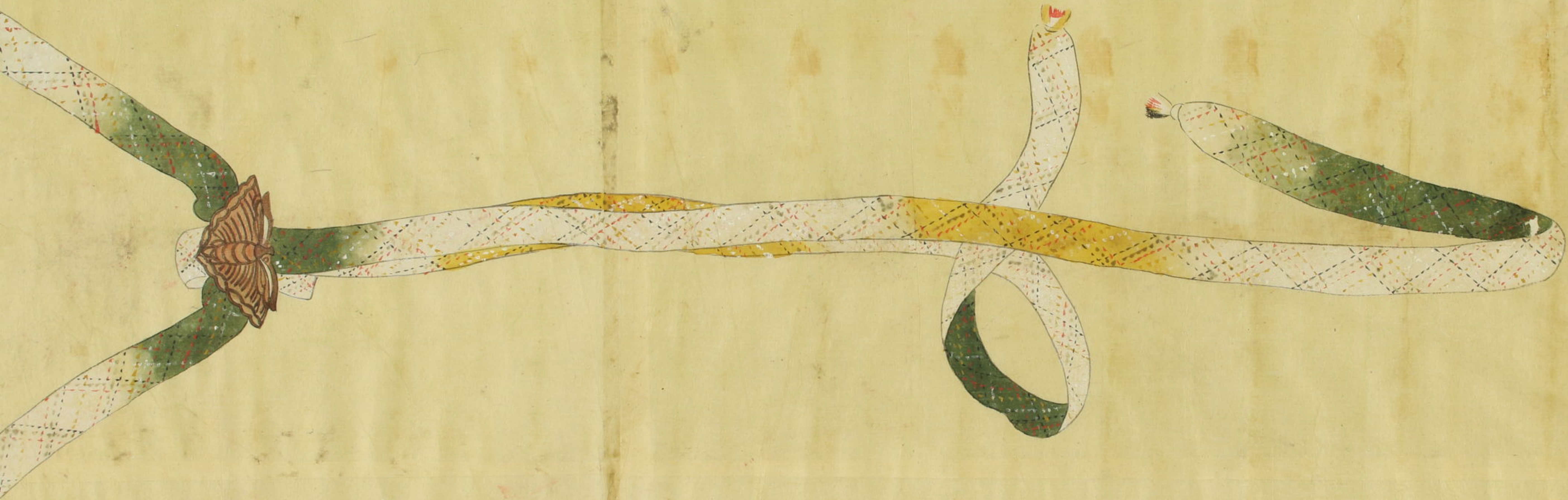
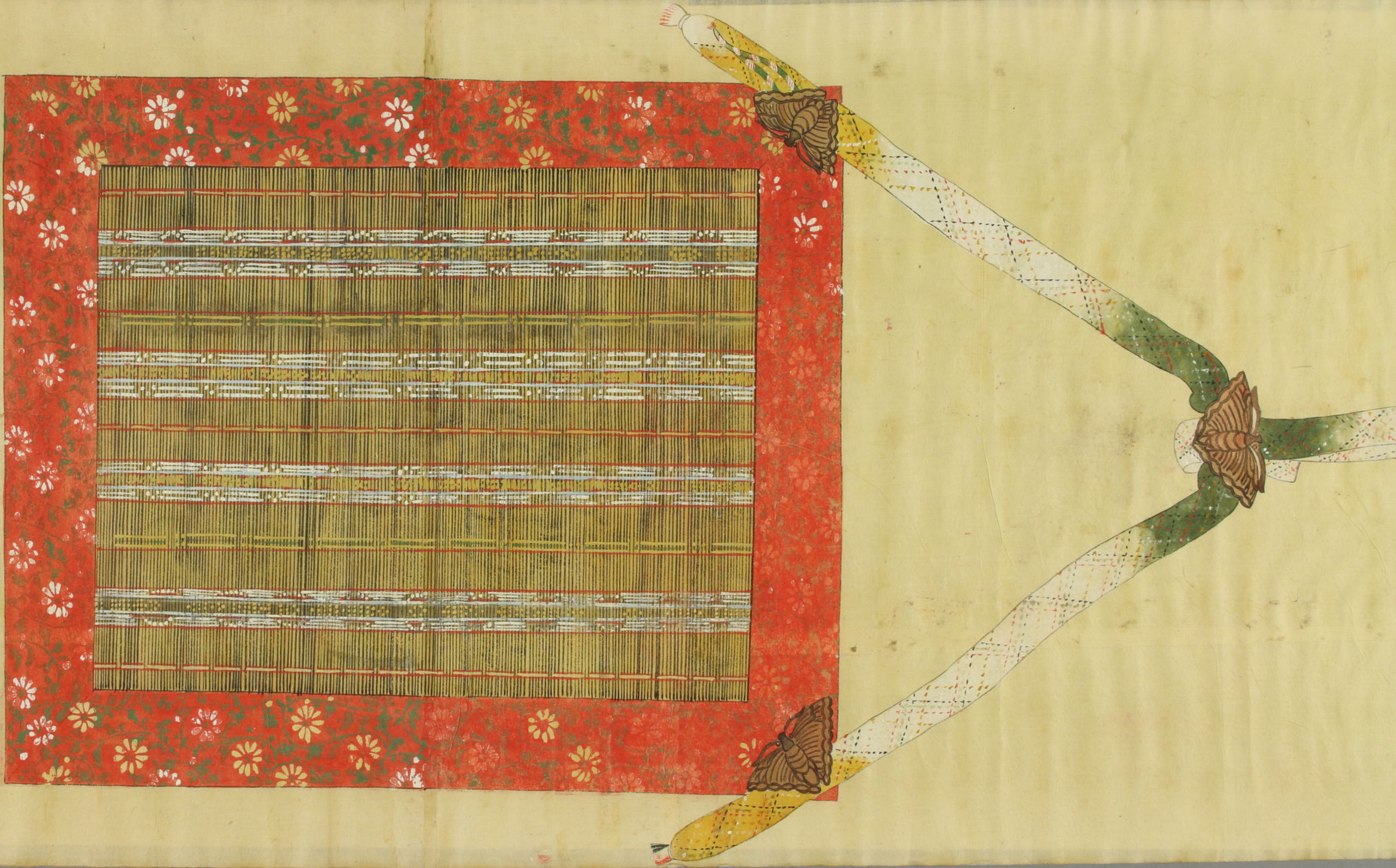




帳簀圖

圖





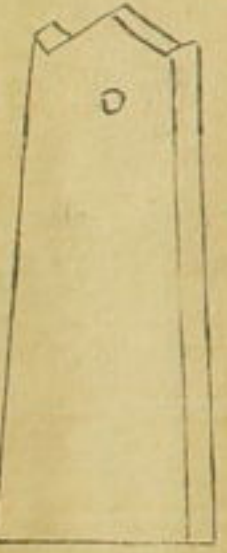
此は京都二條梅檀王院乃寶物也福門院所筆緋色金銀泥諸能
集懺儀を裏ある 帙は圖寛政四年の冬か不屋事と云々也
大なる目かともなる乃圖の由と云々ハ後成してたゞくハカカ
くして 無くとおもふに毎 かに背き、小鍾を身籤、昔、花の物
も、世あるも、花拂乃、花仲官所ハ講の、不、中、絶、を、は、あ、玉、た、?
花の、ハ、ち、花、の、さ、り、と、云、ふ、は、花、の、由、と、云、々、乃、ハ、世、後、り、と、云、々、



ありて京都二條梅檀王院乃寶物皇福門院御筆録金浪派諸能
 集懶儀と裏ある帙は圖寛政四年の冬か不願事と云くはせし也
 大なる目かのみはこ乃園の志と云くはせし也
 かくして是れとありてに毎かたに皆きり小鍾ん身籤の者一の物の
 ことせありては排乃其申宮河八講の不可内絶するはあり玉はう
 能のへ〜ちをたさうりて不ふり記はゆま〜乃〜せはゆりりと思は
 一紀是と判らざるかきある人子之志とむ〜以ふおも思ひし
 河海抄に帳責と云れてふさ記と注一帳責とて是物乃きけある
 簾はかして不語と〜〜とを記し〜帳の法は事あり〜とみ
 不〜とさして帳入夢は事あるとあり〜とてさしてさしては簾をい
 とありはんとしきぬると今かく〜〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 考ゆきハ事角形制を成す〜〜との〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 凡乃不と事唐と事心多〜〜と事難山寶物後白河法皇御筆御一
 紺紙垂泥の一切録乃帳もみか記とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 十卷は事書ハ而経典稱み白氏文集華北定〜とあり〜とあり
 明乃陳佳儒の事信録白樂天夢心文集留盧山州堂屢与逸家其家
 全宗文院を校包以現行帳送年余嘗干垣子京家見王右軍書畫一
 外心班竹帳最之云是宋物帳如細屏其内製以薄絹を〜とあり〜とあり
 且、那ハはさま不〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 天五分他竹様録成帳也記〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 原、事ハハ古制を乃傳〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 中〜傳ハ順胡臣傳在抄〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 可以重書也葉名花去一名書衣〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 席子帳陳粟反説文云古也從巾其聲也武從衣任衣或能〜とあり〜とあり
 通種中草枕別傳他以録ハ出春祖春卿命子況曰吾欲簾中有秘記番
 中與皇書曰傍若無事出言漁臺布奏詣奏〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 乃〜身事〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 あり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり〜とあり
 高麗山乃一切録ハ也事ハ也



世傳を造りて切りて大船を
 一に舟一帳ハ云々あり



梅とて候ハ云々あり

文化十癸酉歲十一月朔日寫之

八幡與一源百里





帙
黃
圖

圖

3645

紅印

7183
84 85
718





73
3645
378